

9月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

71,218円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	16,380円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	11,892円
通信費(携帯電話代、折込代)	42,946円
支出計 13/9/3～13/9/30	71,218円

市政を考える 月刊武松

発行日
13/10/1

第137号

16500部発行

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)
武松政策研究会

地下街再生事業費の削除否決!?

小田原地下街は来年秋の開店に向け進む。

■地下街再生事業費の削除は賛成少数で否決

小田原地下街再生事業費の削除賛成者(敬称略)
武松忠、井上昌彦、大村学、大川裕、田中恵子、
原田敏司、関野隆司、佐々木ナオミ、植田理都子、
木村信市

(26人中の10人、議長は賛否に加わらない。)

■地下街の役割・再開の意義

地下街再生事業費の削除は否決されましたが改めて地下街の役割と意義を示します。 実施計画より抜粋

小田原市には、城下町、宿場町として発展してきた礎があり、地勢や歴史・文化に培われた自然的、産業的、歴史・文化的な地域資源が豊富に存在している。小田原地下街は、こうした本市ならではの魅力を発掘し、編集して発信するとともに、体験や交流を通じて、地域経済の振興や市内への回遊を促進する拠点としての役割を担うものである。

こうした役割を機能させるためには、経済界をはじめとした地元経済関連団体の関係者の連携協力体制の構築と、六次産業化や産業・文化観光の推進など、多様な産業の連携や組み合わせによる新たな価値の創造に向けた取組みを推進していく必要がある。地下街施設の再開は、このような取組みを通じて、地域経済の振興や中心市街地の活性化につなげていくための試金石としての意義を有するものである。

再生計画コンセプト

① 小田原の魅力を再発見と新発見

小田原の隠れた魅力を「発掘」し、「編集」して「発信」する

② 地下街から街なか・地域への回遊促進

小田原地下街で魅力・情報に触れ、街なか・地域で本物の体験をする

③ 「にぎわい」と「新たな価値」の創出

小田原地下街を通して、ヒト・モノ・コトが交流し、にぎわいと新しい価値を生む

右に出店意向を表明した店舗の概要を示します。

物販 ステーションリーやキッチン雑貨などから化粧品・衣料品などまで、ライフスタイルをトータルで提案する生活雑貨店。

物販 パスタやスパイスなどのグロッサリーやワインなどの輸入食品を販売。

物販 デザイン性と足に優しい機能性を併せ持った歩くことの楽しさを提案するシューズ専門店。

物販 キッチン雑貨をメインとした商品構成の雑貨店。食物販と連動した店舗展開を行う。

物販 日常使いのできるシンプルなデザインや機能性を持った身の回り品を提供。

ベーカリー 焼きたてパンを提供するベーカリー。地産地消の新商品も取り扱う。イートインコーナーを検討中。

農産物直売所 朝どれ野菜や地元素材の加工品など、生産者の顔が見える商品を提供。

惣菜 柑橘類など地元の素材を使用したスイーツや惣菜などを提供。

小田原クリエイター 小田原の木工産業の技術を、次世代に伝える工芸ファクトリー。

水産品 相模湾で獲れる地魚や旬にこだわった干物を提供。干物の新しい形も提案。

水産品 小田原漁港で水揚げされる相模湾の地魚を使用した寿司や魚惣菜を提供。

水産品 複数の蒲鉾事業者の商品を取り扱い、小田原の蒲鉾の情報発信を目指す。

惣菜 地場産の素材をメインにコロケ・メンチカツ・ハンバーグなどの肉惣菜を提供。

惣菜 小田原らしさを打ち出した唐揚げや鳥惣菜を提供。

惣菜 昔から食べられてきた小田原の郷土食を提供。

スイーツ 小田原らしさを取り入れたスイーツ等を提供。

スイーツ お土産に最適な小田原の銘菓や、草餅・大福などの自家需要型の和菓子を提供。

スイーツ 小田原の素材にこだわった地産地消の商品を提供する洋菓子店。

スイーツ 最中などの和菓子を新しい取り組みで提案。

小田原ファクトリー・カフェ 見せる工房を併設したスイーツショップとゆっくりとした時間が過ごせるカフェを展開。

飲食 小田原の漁港・魚市場をイメージさせる活気のある海鮮レストラン。

飲食 地元の魚介類や柑橘類など地元素材にこだわった洋食レストラン。

サービス・加ファザーン リラックゼーション、加ファ-教室、チャリンクショップなど、楽しさや利便性を高めるサービスを展開。

地下街 1 月工事開始!?

■小田原地下街再生改修工事

予定工事期間：2014年1月から同年9月まで

工事概要：2014年秋の施設再開に必要となる以下の工事を行う。

管理棟（地上1～3 階、地下1～2 階）

- ・建築、空調設備、衛生設備、電気設備
- ・エレベーター設備
- ・耐震補強
- ・アスベスト対策 ほか

地下 1 階

- ・建築、空調設備、衛生設備、電気設備
- ・エスカレーター設備
- ・耐震補強
- ・アスベスト対策 ほか

地下 2 階

- ・建築、空調設備、衛生設備、電気設備
- ・アスベスト対策 ほか

■施設再開にかかる費用

22.01億円

（2013、14年）

■開業後、設備更新等

にかかる費用

3.98億円

（概ね10年程度）

計25.99億円

（消費税は5%で計算）

■荷捌き場管理及び搬入用エレベーターの新設

（1）荷捌き場の搬入時間

7:00～21:00（時間外対応あり）

（2）搬入可能車両及び待機スペース

屋内スペース2 t 車2台（車高制限2.7m）

屋外スペース2 t 車2台（車高制限なし）

2 t ロング車1台（車高制限なし）

待機スペース敷地内通路6台程度

- ・駐輪場利用者の安全確保のため、車路と自転車通路の区分を明確にする。
- ・搬入車路に朝の繁忙時間帯のみ交通誘導員を配置する。
- ・荷捌き場の室内スペースには、車高制限があるため、アルミ荷台車等は、270° 転回して駐車。

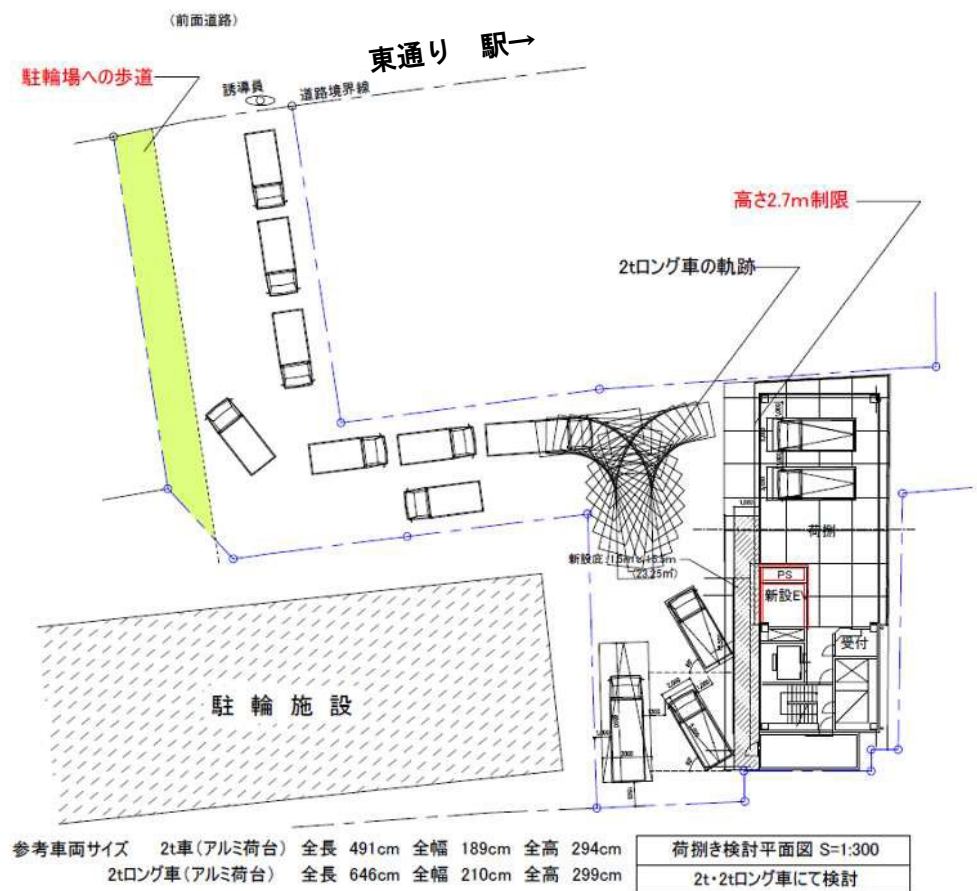


図1 地下街荷捌き所（東通り駐輪場横）

武松政策研究会からのお知らせ

10月の議会報告会(個人) どなたでも参加できます。

日時：10/26(土)18時～20時 場所：市民会館6階 第1多目的室

テーマ：「地下街再生事業実施計画について」

参加費：100円 終了後の懇親会は都合により中止します。



HPIは、**YAHOO!**で「たけまつただし」 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、**eメールでも送付していますので連絡下さい。**